

2025 年 5 月 15 日

各 位

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一
(コード番号 9934 東証プライム)
問合せ先
取締役執行役員管理本部長 溝越 尚人
(TEL 06-4391-1781)

研究開発施設の建設に関するお知らせ

当社は、重点施策の一つに掲げる「自社製品の開発・拡充」の推進に向け、大阪物流センター（大阪府東大阪市）の隣接地に新たに研究開発施設を建設することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は中期経営計画に基づく 2025 年 3 月期から 2027 年 3 月期までの 3 期累計のキャッシュアロケーションにおいて、既存事業継続および重点機能強化のための成長投資枠（最大 250 億円程度）を設定しております。

記

1. 建設の目的

(1) 自社製品事業の成長加速

当社の収益の柱である自社製品事業では、主力の空調周辺部材に加え、近年は隣接領域における製品の開発に取り組んでおります。また、グローバル展開を加速すべく、各種製品のローカライズにも注力しております。研究開発スペースの拡張により、事業拡大に伴う人員増加や、新分野の研究に向けた設備の導入を可能とし、さらなる成長のための基盤といたします。

(2) イノベーションの推進

開発インフラの刷新によって研究者がコア業務に没頭できる環境を整えるとともに、木や緑、光を使った五感を刺激する空間の中に立体的な交流スペースを配置し、活発なコミュニケーションを通じたイノベーションの創出を図ります。また、本施設に当社の持てる技術を集約し、研究開発から検証、生産体制の構築まで一気通貫で実施できる環境を整備することで、製品開発のスピードアップを実現いたします。

(3) 人材採用力・育成力の強化

建物構造に木造ハイブリッドを採用し、サステナブルな先進建築物として ZEB-Ready の達成と CASBEE 認証の取得を目指します。建築物としての性能に加え、ウェルビーイングを叶える空間を創ることで、人材採用力の強化や従業員のモチベーション向上を図ります。また、本施設には大型のセミナールームを設け、全社の教育拠点としても活用します。部

門横断型のトレーニングや産学連携プロジェクトなど、学習機会の創出を通して人材の成長を促し、ブランドの強化へ繋がります。

2. 新研究開発施設の概要

名称	イノベーションセンター
所在地	大阪府東大阪市高井田5丁目4-24
建物構造	木造ハイブリッド（S造、一部木造） 地上4階
延べ面積	約9,900 m ²
土地面積	約5,800 m ²
着工時期	2026年1月（予定）
竣工時期	2027年夏頃（予定）
投資予定額	約100億円（全額自己資金）

※本件は当社所有の土地を活用するもので、新たな用地の取得はありません

<外観イメージ>



3. 今後の見通し

本日公表の2026年3月期連結業績予想において、本件による当期業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上